

2023年(令和5年)度 事業報告書
2023年1月1日～2023年12月31日

特定非営利活動法人 Earth as Mother

1 事業実施の概略

特定非営利活動法人Earth as Motherは、「全ての人と自然と共に生きる」事を基本とした「生活様式」を6つの理念を基に構築し、未来の子ども達に心も身体も健康に笑顔で暮らせる地球を渡していく事を目的とし設立。

社会、人間が抱える諸問題として、環境破壊、心身破壊が有り、地球の再構築が必要と考える為、具体的な取組として2009年から愛知県豊田市や犬山市羽黒や岡崎市幸田にて活動を開始。2010年からは、豊田市藤岡・下川口・池島町でビオトープや冬水田んぼも始め、生き物が集まった自然耕が出来、農業が始まり、2016年からは豊田市藤岡・猿投町が中心、2019年からは日進市での農業と福祉の構築を始めた。名古屋市、豊田市、日進市を中心として活動。

2023年度は定款にある7項目の事業を実施。他団体交流では、中京大学とイベント協働事業、愛知県立大学からインターンシップ受入れを継続。地球規模の気象異常の中、日本でも最高気温40℃以上の酷暑日が続いたが、環境イベントでは夏に圃場での生き物調査を実施。食育からの食事提供も熱中症対策を考慮。福祉では、親育勉強会を初めて開催。食農事業では、圃場全般の整備、土づくりを実施。また11月上旬まで猛暑となり農作物の収穫に大きな影響を受けた。食農イベントでは稲刈りを実施。他に農事ボランティアにおいては、継続しての参加者が増加。完全オーガニックの作物作りの理解が進んだと考察する。生活困窮者等就労準備支援事業では、日進市の委託を受け事業所を開設、地域福祉課と協働して引きもり等支援の交流会を開催。食育推進事業では、農林水産省消費・安全対策交付金(愛知県 地域での食育推進事業)の助成を受け、教育ファーム検討委員会、シンポジウム、伝統料理講座を実施。伝統料理講座では、鬼まんじゅう作りで里芋を使い、参加者よりその意外性が好評を得た。年末には、『食農感謝祭』を豊田市猿投町当会圃場内にて初開催。にっしん市民まつり等に出店参加し五平餅を販売。市民農園事業継続、土づくり、野菜づくり青空交流会を開催。委託事業として、日進アグリスクール「米作り体験コース」「にっしんサトイモおはぎ創りコース」を開催。米作りコース最終回ではリース作りを実施、最後まで子供も積極的に参加。また日進市内小学校「サツマイモを育てる」体験授業を担当。

豊田市藤岡、猿投地区、日進市の田畑では、農業後継者が激減していく中、遊休農地や耕作放棄地が増えた問題や国内自給率が低い等の課題を踏まえ、地産地消を促す有機循環自然農法を実践し、自然との共生の大切さ、生命を育む尊さを活動を通じて伝え、安心安全な農薬、除草剤、化学肥料不使用の完全オーガニック氣力野菜、氣力米を作り、ボランティアを受入れて親子や一般参加者が農業に関わる環境の提供を継続的に行っている。

健康で持続可能な地域社会を基盤とするコミュニティ構築を形成出来る様に活動を推進し、愛知県本部より岐阜県、三重県、千葉県、兵庫県、青森県等の県外にも理念の普及啓発とマザリーアースプロジェクトの賛同実践者を増やし、会員増強に努める。

各事業の具体的な内容としては、定款の目的を達成するため、次の事業を実施する。

- ① WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業。
- ② 自然再生と環境の保全活動を支援する事業。
- ③ 保健、医療、老人福祉及び健康促進事業を支援する事業。
- ④ 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業。
- ⑤ 生活困窮者等就労準備支援、社会的包摂推進に係る事業。
- ⑥ 食育を推進する事業。
- ⑦ 農作業の付帯業務・請負及び農具・土壌改良資材の製造、販売事業。
- ⑧ その他この法人の目的を達成するために必要な事業。

【①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業】

事業の成果

WEBシステム利用による情報発信、活動紹介パネルの展示（豊田市役所、とよた市民活動センター、にしんわいわいフェスティバル）、中京大学今井ゼミとの協働事業、愛知県立大学学生インターンシップを通じ団体交流を行った。

(ア) 「①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業／WEBシステム」

事業内容

WEBシステム利用の活動はメール配信にてイベント、セミナー、ボランティア等の発信。会員以外の方への情報発信は、Facebookや「とよたまちさとミライ塾+（プラス）」のサイトで応募を実施。

豊田市の公的広報「とよた市民活動センター」のHP、「東海農政局食育メールマガジン」、愛知県「食育ネットあいち」のメールマガジン等にイベント情報を掲載。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業 (WEBシステム)	メール配信、公的な広報等にてイベント、セミナー、ボランティア等の発信を行う	(A) 2023年(R5) 1月1日～ 12月31日 (B) 当会事務所等 (C) 24人 (2回/月)	(D) 会員、一般県民市民 (E) 不特定多数	0円

(2) 総費用（無償ボランティア 24人）

総合計 0円

(内訳)

(3) 収益

総合計 0円

(内訳)

(4) 反省点・改善ポイント

年間を通じてコンスタントに情報配信が出来た。

より多くの方々へ広報が出来る様に関係機関との連携等を深めていく。

(イ) 「①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業／他団体交流」
事業内容

「豊田市役所団体活動紹介展示」にてパネル展示を実施。

パネルにてテーマ、理念や活動内容などを紹介。9月3日弁当の日上映会の告知を実施。

豊田市内の不特定多数の市民へPRを行う。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者 の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業。 (他団体交流)	豊田市役所団体活動紹介展示にてパネル展示を行う	(A)2023年(R5) 8月1日11:30～ 8月31日16:00 (B)豊田市役所 (C)2人	(D)豊田市民等 (E)不特定多数	0円

(2) 総費用（無償ボランティア 2人）

総合計 0円

(内訳)

(3) 収益

総合計 0円

(内訳)

(4) 反省点・改善ポイント

昨年の豊田中央図書館に引き続き、公共施設での展示は今回で2回目となる。

指定されたスペースで効果的なPRしていく事難しく感じた。手作りの物などを掲示する等魅力的な展示方法を検討する。



(ウ) 「①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業／他団体交流」
事業内容

「とよた市民活動センター団体活動紹介展示」にてパネル展示を実施。

活動理念、テーマや活動内容などを紹介。豊田市内の不特定多数の市民へPRを行う。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者 の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業。 (他団体交流)	とよた市民活動センター団体活動紹介展示にてパネル展示を行う	(A) 2023年(R5) 10月4日19:00 ～2024年(R6) 3月31日19:00 (B) とよた市民活動センター (C) 2人	(D) 豊田市民等 (E) 不特定多数	0円

(2) 総費用 (無償ボランティア 2人)

総合計 0円
(内訳)

(3) 収益

総合計 0円
(内訳)

(4) 反省点・改善ポイント

今回も限られたスペースで良いPRしていくのは、難しいと感じる。注目される様な魅力的な展示方法を検討する。



(エ) 「①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業／他団体交流」

事業内容

「にしんわいわいフェスティバル2023」にてパネル展示を実施。

日進アグリスクールの活動パネル展示や当会の活動紹介、ボランティア募集、チラシ配布等啓発活動を実施。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業。 (他団体交流)	にしんわいわいフェスティバル2023にて日進アグリスクール活動紹介を行う	(A)2023年(R5)7月1日 10:00~15:30 (B)日進市民会館 (C)3人	(D)日進市民等 (E)不特定多数	0円

(2) 総費用 (無償ボランティア 3人)

総合計 0円
(内訳)

(3) 収益

総合計 0円
(内訳)

(4) 反省点・改善ポイント

来場者数は前回より増加状況だった。体験型のブース出展であれば啓発できる機会も増加出来ると思う。



(オ) 「①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業／他団体交流」

事業内容

「走れ！探せ！草抜きバトル」を開催。

昨年度に開催した除草のイベントを、今年度担当になった今井ゼミの3年生5名が中心となり改訂して実施。昨年は雨天で順延した事で参加者が減少したが、今年は、好天に恵

まれた事、5月14日(日)の日進アグリスクール米づくり体験コース内で企画のチラシを配布、受講生に案内した事が功を奏し、過去のアグリスクール参加者やその友人(LaCLo生)の参加により、11世帯31人の参加があった。「障害物リレー」「草抜きバトル」の2つの競技を通じて、米づくりの裏側や、お米や農に関する知識を楽しみながら知る機会になり、子どもだけで無く保護者も積極的に参加した場になり、参加者の評価は高かった。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位:円)
①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業。 (他団体交流)	中京大学今井ゼミ「走れ!探せ!草抜きバトル」の協働事業(日進アグリスクール米づくり体験コースのオプション企画)	(A)2023年(R5)7月2日 9:30~12:00 (B)日進市米野木町当会圃場 (C)21人	(D)日進アグリスクール米づくり体験コース参加者、LaCLo関係者 (E)31人	0円

(2) 総費用(無償ボランティア 21人)

総合計 0円
(内訳)

(3) 収益

総合計 0円
(内訳)

(4) 反省点・改善ポイント

(今井ゼミ内での学生の振り返り)

ゲーム性を強くし過ぎ、草抜きの趣旨が伝わりにくくなった。

子どもたちへの声かけが不十分だった為、1家族に1スタッフ付ける事が課題。



(カ) 「①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業/他団体交流」 事業内容

ぐるぐるNISSHINまちミル博覧会「わくわく!いなさく!すごろく!」を開催。
7月に行った「走れ!探せ!草抜きバトル」に続き、今井ゼミの3年生5名が中心となり、

ぐるぐるNISSHINまちミル博覧会のプログラムとして実施。当法人は協力という形で携わり、当日は8家族が参加した。田圃2枚全体使ったすごろくで、参加者の方自身が駒になって進む大きなリアルすごろくのマスには、お米に関する説明や知識がちりばめられており、楽しみながら、お米に関する知識を身に付けて頂ける機会となった。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業。 (他団体交流)	「わくわく！いなく！すごろく！」、ぐるぐるNISSHINまちミル博覧会（中京大学今井ゼミ）支援	(A)2023年(R5)10月14日 9:30～12:30 (B)日進市米野木町圃場当会圃場 (C)21人	(D)一般市民 (E)30人	0円

(2) 総費用（無償ボランティア 21人）

総合計 0円
(内訳)

(3) 収益

総合計 0円
(内訳)

(4) 反省点・改善ポイント

(今井ゼミ内での学生の振り返り)

サイコロの目が大きいと早く終わってしまう為、2回戦は改良。

シミュレーションが不足。得点のバランスを考慮し、来年度以降も継続的に実施する。



(キ) 「①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業／国際交流」 事業内容

岡崎市の生き生きコミュニティ国際交流は、本年度も中止。

※ 国際交流事業は、国際交流室長の1人がおかざきニュースを発行し、国際交流支援を長年開催されており共働にて実施。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者 の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業。 (国際交流)	りぶらまつり 2023 開催中止	(A) 2023年(R5) 8月19日 (B) 岡崎市図書館 交流プラザ (C) 0人	(D) 岡崎市、 その他 一般市民 (E) 0人	0円

(2) 総費用（無償ボランティア 0人）

総合計 0円
(内訳)

(3) 収益

総合計 0円
(内訳)

(ク) 「①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業／その他」
事業内容

その他として、I-TEN(株)様の経営と従業員に対しての相談指導。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者 の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業。 (その他)	会社の経営と 従業員に対しての 相談指導	(A) 月1回 (B) 事務所又は リモート (C) 24人	(D) 会員対象 (E) 1人	0円

(2) 総費用（無償ボランティア 24人）

総合計 0円
(内訳)

(3) 収益

総合計 600,000円

(内訳)

・ I-TEN(株) 顧問料 600,000円

(ケ) 「①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業／その他」

事業内容

愛知県立大学より学生がインターンシップとして、令和4・5年度農林水産省消費・安全対策交付金事業、愛知県地域での食育の推進事業の食と農業に関するシンポジウムや、教育ファーム検討委員会、日進市アグリスクール米作り体験コース、6次産業体験コースへ参加。企画や準備内容を学び、参加者との交流を図る等キャリア教育の一環として参加し、愛知県立大学のインターンシップ事業においては優良事例として推薦される。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業。 (その他)	(農林水産省、消費・安全対策交付金) 令和4年度 第4回教育ファーム検討委員会	(A)2023年(R5) 1月26日 10:00~11:45 (B)日進市民会館 (C)4人	(D)愛知県立大 学生徒 (E)2人	0円
①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業。 (その他)	(農林水産省、消費・安全対策交付金) 令和4年度 第5回教育ファーム検討委員会	(A)2023年(R5) 2月23日 10:00~11:00 (B)日進市民会館 (C)4人	(D)愛知県立大 学生徒 (E)2人	0円
①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業。	(農林水産省、消費・安全対策交付金) 令和5年度 第1回教育ファーム検討委員会	(A)2023年(R5) 11月28日 10:00~11:45 (B)日進市民会館 (C)3人	(D)愛知県立大 学生徒 (E)1人	0円

(その他)				
①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業。 (その他)	(農林水産省、消費・安全対策交付金) 令和5年度 第2回教育ファーム検討委員会	(A)2023年(R5) 12月19日 10:00~11:45 (B)日進市民会館 (C)3人	(D)愛知県立大 学生徒 (E)1人	0円
①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業。 (その他)	(農林水産省、愛知県地域での食育の推進事業) 「未来へつなぐ食生活と農業に関するシンポジウム2023 inにっしん」として 映画上映、講演会、パネルディスカッションを実施	(A)2023年(R5) 2月23日 13:00~16:45 (B)日進市民会館 小ホール (C)14人	(D)愛知県立大 学生徒 (E)2人	0円
①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業。 (その他)	にっしんアグリ スクール 米作り体験コース 生き物観察、ビンゴ、どろリンピック	(A)2023年(R5) 7月30日 (B)日進市米野木町 当会圃場 (C)6名	(D)愛知県立大 学生徒 (E)3人	0円
①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業。 (その他)	にっしんアグリ スクール 米作り体験コース 峰のむらさきの 稲刈りとはざがけ。	(A)2023年(R5) 9月10日 (B)日進市米野木町 当会圃場 (C)5人	(D)愛知県立大 学生徒 (E)2人	0円
①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業。	にっしんアグリ スクール 米作り体験コース 峰のむらさきの 足踏み脱穀。 わらリンピック	(A)2023年(R5) 9月23日 (B)日進市米野木町 当会圃場 (C)6名	(D)愛知県立大 学生徒 (E)1人	0円

(その他)	準備			
①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業。 (その他)	にしんアグリ スクール 米作り体験コース 峰のむらさきの 足踏み脱穀。 わらリンピック	(A) 2023年(R5) 9月24日 (B) 日進市米野木町 当会圃場 (C) 6名	(D) 愛知県立大 学生徒 (E) 2人	0円
①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業。 (その他)	にしんアグリ スクール 米作り体験コース もみすり・工作と試食	(A) 2023年(R5) 10月29日 (B) 日進市役所 (C) 7名	(D) 愛知県立大 学生徒 (E) 2人	0円
①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業。 (その他)	にしんアグリ スクール にしんサトイモ おはぎ創りコース畑 づくり、植え付け 管理作業	(A) 2023年(R5) 7月16日 (B) 日進市本郷町当 会圃場 (C) 4人	(D) 愛知県立大 学生徒 (E) 3人	0円
①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業。 (その他)	にしんアグリ スクール にしんサトイモ おはぎ創りコース 管理作業	(A) 2023年(R5) 8月27日 (B) 日進市本郷町当 会圃場 (C) 4人	(D) 愛知県立大 学生徒 (E) 1人	0円
①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業。 (その他)	にしんアグリ スクール にしんサトイモ おはぎ創りコース 収穫、試食準備	(A) 2023年(R5) 10月21日 (B) 日進市当会圃場 (C) 2人	(D) 愛知県立大 学生徒 (E) 1人	0円

①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業。 (その他)	にしんアグリ スクール にしんサトイモ おはぎ創りコース 収穫、試食	(A)2023年(R5) 10月22日 (B)日進市当会圃場 (C)6人	(D)愛知県立大 学生徒 (E)3人	0円
①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業。 (その他)	にしんアグリ スクール にしんサトイモお はぎ創りコース 食品加工講座 (おはぎづくり)	(A)2023年(R5) 11月5日 (B)日進市民会館 (C)6名	(D)愛知県立大 学生徒 (E)4人	0円

(2) 総費用 (無償ボランティア 80人)

総合計 0円
(内訳)

(3) 収益

総合計 0円
(内訳)

(4) 反省点・改善ポイント

令和2年度から継続して、愛知県立大学のインターンシップ生の受け入れを行う機会を得た。インターンシップ生にとっても企画、コミュニケーションの必要性など学ぶ良い体験の場となる。



【②自然再生と環境の保全活動を支援する事業】

※ 講師等役職名前は敬称略

事業の成果

自然再生と環境の保全活動を支援する事業は、環境セミナーとしてマザリーアースプロジェクトセミナーを開催。環境イベントとしては、毎年恒例の田んぼの生き物調査を実施。豊田市の環境保全型農業直接支払交付金は継続して受ける。寺子屋ものづくりは、イベントの出展内容の変更等もあり実施せず。

(ア) 「②自然再生と環境の保全活動を支援する事業／環境セミナー」

事業内容

本年度も、総会後にマザリーアースプロジェクトセミナーを開催し、愛知の各事業部と青森、千葉、岐阜、三重、兵庫各支部、東京エリアの活動発表を行った。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者 の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
②自然再生と環境 の保全活動を支 援する事業 (環境セミナー)	マザリーアース プロジェクトセミ ナーを開催 各エリア、支部活 動発表	(A) 2023年(R5) 3月25日 13:30～16:30 (B) ウィルあいち セミナー ルーム 1, 2 (C) 10人	(D) 会員・一般 (E) 36人	0円

(2) 総費用 (無償ボランティア 10人)

総合計 0円

(内訳)

(3) 収益

総合計 0円

(内訳)

(4) 反省点・改善ポイント

支部への連絡が遅かった。未確定な部分も含め、予定として連絡をする。当日の段取りが十分でなく、不測の状況を考え、活動発表時間等も見直す。



(イ) 「②自然再生と環境の保全活動を支援する事業／環境イベント」

事業内容

年4回の豊田市での主たるイベント第2回目のとよたまちさとミライ塾+ (プラス) のプログラム『自然と共生する田んぼで生き物みつけ♪』と題して開催。大人も子供も自然の中で生き物と共生している事を学ぶイベントとなった。自然あふれる完全オーガニック (農薬、

(ウ) 「②自然再生と環境の保全活動を支援する事業／環境保全」

事業内容

生物多様性保全や自然循環機能を維持・増進する効果の高い有機循環自然農法実践の為、環境保全型農業直接支払交付金を豊田市農政課へ申請。

※ 環境保全型農業直接支払交付金：地球温暖化防止対策や生物多様性の保全に効果の高い営農活動に対し、支援金を交付する制度。「化学肥料・化学合成農薬を各地域の慣行から原則5割以上低減」し、かつ「地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動」または「有機農業」に取り組む農業者団体を支援。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者 の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 (環境保全)	環境保全型農業直接支払交付金	(A) 2023年(R5) (B) 豊田市内圃場 (C) 11人	(D) — (E) —	0円

(2) 総費用 (無償ボランティア 11人)

総合計 0円
(内訳)

(3) 収益

総合計 117,603円
(内訳)

・環境保全型農業直接支援対策事業補助金 117,603円

(4) 反省点・改善ポイント

申請担当者が体調不良で対応出来ず、別スタッフが引継ぐ形になったが申請方法が分からず苦労した。食育・食農事業部内での共有が必要。

(エ) 「②自然再生と環境の保全活動を支援する事業／寺子屋ものづくり」

事業内容

にしんわいわいフェスティバル2023にて、日進市のマスコット「ニッシーをつくろう」の出展を検討したが、日進アグリスクール活動紹介に変更。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者 の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
②自然再生と 環境の保全 活動を支援 する事業 (寺子屋 ものづくり)	日進アグリスクール 活動紹介に変更	(A) 2023年(R5) 7月1日 10:00～15:30 (B) 日進市民会館 (C) 0人	(D) 日進市民等 (E) 0人	0円

(2) 総費用 (無償ボランティア 0人)

総合計 0円
(内訳)

(3) 収益

総合計 0円
(内訳)

(オ) 「②自然再生と環境の保全活動を支援する事業／寺子屋ものづくり」

事業内容

寺子屋ものづくり事業部は、県のテーマパークであるモリコロパークにて、秋まつり「モリゾー、キッコロをハサミ一本で作る粘土教室」の出展について春まつりのイベント視察の結果を元に検討し不参加。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者 の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
②自然再生と 環境の保全 活動を支援 する事業 (寺子屋 ものづくり)	モリコロパーク 秋まつり ハサミ1本で作る モリゾー、キッコロ の粘土教室	(A) 2023年(R5) 9月30日 10月1日 モリコロ パーク (C) 0人	(D) 愛知県内外 一般、会員 (A) 0人	0円

(2) 総費用 (無償ボランティア 0人)

総合計 0円
(内訳)

(3) 収益

総合計 0円
(内訳)

【③保健、医療、老人福祉及び健康促進事業を支援する事業】 ※ 講師等役職名前は敬称略
事業の成果

心の学校メンタルヘルスのワークショップは、心のあり方やものの見方考え方について悩みを抱えている方、人との調和や会社の方針に疑問を持った方、心身に病のある方等を対象として、物事の考え方、言葉の使い方、生き方を変える事で「プラス思考」に言葉遣いを変えていく事で、人生観が変われる生き方を指導。物事の考え方を変えるだけで、悩みが解消されて心の問題が解決に変わっていく。解決に向けての必要な取組になる事を事例やマンダラ思考を通して自己改革自己啓発の仕方を指導。

ワークショップ形式セミナーを愛知で開催してきたが、今年度も講師である山本理事長の体調不良により中止。福祉としては、今回初めて親育勉強会を開催。

(ア) 「③保健、医療、老人福祉及び健康促進事業を支援する事業／福祉」

事業内容

通常総会、マザリーアースプロジェクトセミナー後に、黒田忠晃理事を講師として親育勉強会を開催。講師の、教育を変えないといけないという想い、親の子どもに対してのあり方、社会人基礎力、意識調査の現状についての話、また後半は数名のグループに分かれてワークショップを行う。私たち自身の在り方、主体性、考える力、コミュニケーション力について学ぶ機会となった。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者 の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
③保険、医療、老人福祉及び健康促進事業を支援する事業 (福祉)	親育勉強会を開催	(A) 2023年(R5) 3月25日 18:30～20:30 (B) ウィルあいち セミナー ルーム 1, 2 (C) 10人	(D) 会員・一般 (E) 29人	37,712円

(2) 総費用 (無償ボランティア 10人)

総合計 37,712円

(内訳)			
・仕入高NPO	28,512円	・賃借料	9,200円
(3) 収益			
総合計	47,500円		

(内訳)

参加費

・大人	46,500円 (1,500円×31人)
・小中学生	1,000円 (1,000円×1人)

(4) 反省点・改善ポイント

勉強会の内容を決めるのが開催直前となり、今後は早めに計画を立てて進める。
ワークショップを通じて他支部の会員同士で共同、共有の機会を得た。他の事業でも工夫して行う。



【④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業】

※ 講師等役職名前は敬称略

事業の成果

農事食農活動は「心の学校の課外授業」として位置付けられ、マザリーアースファームで年2回の食農イベントを開催。

1回目は親子で楽しむ素手での田植え体験を予定していたが雨天で中止し、会員スタッフで実施完了。2回目は天気にも恵まれ、稲刈りと五平餅づくり体験を「とよたまちさとミライ塾+（プラス）」のプログラムの一つとして実施。

食農農事活動を通じて豊田市猿投町別所と藤岡飯野町の圃場で、障がいを伴う方々（自閉症、知的障害、発達障害等）、うつ病、生活困窮者、被保護者の方々や岐阜支部東濃エリア（土岐市）からも受入れ、就労準備支援や訓練の場として使用。日進市本郷町、米野木町圃場でも同様に「いくるばにっしん」就労準備支援の利用者が体力向上や社会へつながる一歩として活用。

当会の目指す地域共生社会づくりの一環として行政各機関との協働、市民や会員活動の共働共生を目指し、有機循環自然農法（農薬、化学肥料、除草剤不使用）完全オーガニックの安心安全な作物作りを重きに置き実践。

コロナ禍を経て、心身の不調や生活習慣病の問題、食の安心安全への不安や食料の安全保障と食料危機が叫ばれる中、生産者や農家担い手不足による耕作放棄地や遊休農地等による農地荒廃や解消対策を有機循環自然農法の啓発と普及を会員や一般者、学生を含むボランティアに向けての実践指導。

完全オーガニックのお米や野菜は安心して食せるだけでなく、栄養的にも優れ安全で健康維

持増進に役立ち、野菜本来の風味が美味しいと親も子どもたちも喜ぶ食材である。

このような農産物や食材のお米や野菜を提供出来る食農イベントで、様々な体験を通じた食の大切さを伝える機会を増やし、心身共に健康で持続可能なコミュニティと地域社会の再生を促進し、半農半就の環境保全型農業を実践する事で生態系や生物多様性に関心を持ち、自然の恵み感謝し、生き物や自然と共生する心を育み、人と人が共に助け合う互助の精神で農業と福祉を基盤とする自給圏経済のコミュニティ構築を目指して実践実行中。

今年度も企業ボランティアの安城市の東和精機株式会社のCSR活動による農事支援、農業ボランティア、企業や会員へ日頃の感謝の意を込めて、食農感謝祭への招待案内。長年蓄積した経験とノウハウによるコミュニティ構築活動は、意義のある充実した活動の一年となった。

有事において、食糧危機や災害時に生き残る為には自然の叡智と智慧から学び、自然と共生し人が優しく寄り添い共生する愛に満ちたコミュニティを構築する事が必要。大人である私たちが使命感を持って実践実行し、次世代を担う子どもたちや若い世代、学生ボランティアを積極的に受け入れ6つの活動理念の共有をしていく。

(ア) 「④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業／農事事業」

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 (農事事業)	自動車等修善費 自動車保険 集落協定	(A)2023年(R5) 1月1日～ 12月31日 (B) — (C) —	(D) — (E) —	237,023円

(2) 総費用

総合計 237,023円

(内訳)

・修繕費	74,778円	・賃借料	25,000円
・保険料	103,280円	・租税公課	33,800円
・支払手数料	165円		

(3) 収益

総合計 22,900円

(内訳)

・農事事業部集落協定 10,900円

・猿投寮不要物売却（鉄くず業者） 12,000円

(ア) 「④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業／食農イベント」

事業内容

「第1回食農イベント 田植え」

降雨の為、開催を中止。

「第2回食農イベント 稲刈り（とよたまちさとミライ塾+（プラス）」を開催

第2回食農・食育イベントを「昔ながらの稲刈り体験と完全オーガニックのお米、お味噌を使った五平餅作り♪」と題し開催。とよたまちさとミライ塾+（プラス）のプログラムの一つとして企画。食農体験として峰のむらさきの稲刈り・稲わらしぼり・はざがけ体験を実施。今年、田植えに申し込んでいた家族、昨年に続いて参加した家族もあった。稲刈り体験は、約一反の圃場に実った峰のむらさきを参加者が一列に並んで刈り進み、親子や家族間で刈り残しが無い様に協力して刈取りを行い、手際良く縛りとはざ掛けまで完了。食農と食育の大切さを伝える良い機会となった。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の 範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
④資源循環型・ 環境保全型 経済を推進 するコミュ ニティの構 築事業 (食農 イベント)	「親子で楽しむ♪ 食農・食育体験 む らさきのお米の田植 えをしよう！」を当 会豊田市圃場にて開 催 雨天により中止	(A)2023年(R5) 5月7日 9:30~13:00 (B)豊田市猿投 棒の手会館裏 当会圃場 (C)0人	(D)自然との共生 に、安心安全 な食育・食農 に関心がある 市民、会員 (E)0人	765円
④資源循環型・ 環境保全型 経済を推進 するコミュ ニティの構 築事業 (食農 イベント)	とよたまちさとミラ イ塾+「昔ながらの 稲刈り体験と完全オ ーガニックのお米、 お味噌を使った五平 餅作り」を開催。	(A)2023年(R5) 10月8日 9:30~13:00 (B)豊田市猿投 棒の手会館裏 当会圃場 (C)11人	(D)自然との共生 に、安心安全 な食育・食農 に関心がある 市民、会員 (E)33人	1,500円

(2) 総費用（無償ボランティア 11人）

総合計 2,265円（765円+1,500円）

(内訳)

- ・ 賃借料 400円
- ・ 保険料 1,800円 (600円+1,200円)
- ・ 支払手数料 65円 (165円+▲100円)

(3) 収益

総合計 27,000円

(内訳)

- 「親子で楽しむ 食農・食育体験 むらさきのお米の田植えをしよう」(5/7) 0円
- 「昔ながらの稲刈り体験と完全オーガニックのお米、お味噌を使った五平餅作り」(10/8) 27,000円

- ・ 大人(高校生以上) 24,000円 (1,200円×20人)
- ・ 小中学生 800円 (200円×4人)
- ・ 未就学児 0円 (0円×9人)
- ・ スタッフ 2,200円 (200円×11人)

(4) 反省点・改善ポイント

田植えは、大雨の予報を受けて早々に中止を決め、参加者に事前連絡。雨に濡れた土や草によって畔道や圃場の出入りが滑り易くなっていた為中止と判断。当日手植え予定で準備していた苗は、慣れたスタッフやボランティアにより植え付けを行い無事田植えを完了。当会活動の周知の大切な機会を完遂出来ず、補完する機会を作る等の方法を検討する。

稲刈りは、とよたまちさとミライ塾+（プラス）のプログラムとして開催した為、より広い層の方々が参加。天候が崩れる間際での開催であったが、当日午前中は雨に遭う事も無く順調にイベントを行う事が出来た。普段接点の少ない参加者にも当会活動の周知の機会であり、楽しい体験や食事を提供すると共に、会の活動をアピールする場として活用。



(イ) 「④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業／マルシェ」

(1) 開催日時

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)

		(C) 従事者の人数		
④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業(マルシェ)	農産物の生産・販売	(A) 2023年(R5) 1月1日～ 12月31日 (B) 当会イベント 会場等 (C) 550人	(D) 一般・会員 (E) 不特定多数	1,297,498円

(2) 総費用(無償参加ボランティア 延べ550人)

総合計	1,297,498円		
○人件費	100,000円		
(内訳)	<ul style="list-style-type: none"> ・正会員従事者(1人) 100,000円 		
○その他経費	1,197,498円		
(内訳)	<ul style="list-style-type: none"> 仕入、棚卸関係 438,005円 ・当期仕入高 195,537円 ・期末棚卸高 ▲72,090円 ・印刷製本費 3,790円 ・燃料費 54,843円 ・消耗品費 180,723円 ・水道光熱費 54,486円 ・賃借料 8,800円 ・租税公課 19,200円 ・広告宣伝費 23,200円 ・期首棚卸高 314,558円 ・車両費 38,306円 ・通信運搬費 8,349円 ・修繕費 108,088円 ・地代家賃 24,000円 ・保険料 47,810円 ・支払手数料 4,872円 ・減価償却費 183,026円 		

(3) 収益

総合計	857,084円	
(内訳)	<ul style="list-style-type: none"> ・売上高 748,357円 ＜宅配販売＞ 0円 ＜マルシェ販売＞ 748,357円 ・雑収益 108,720円 ・受取利息 7円 	

(4) 反省点・改善ポイント

今年度も圃場全般の整備と土づくりを行っているため全体的に農作物の生産物が少ない。イベントでは野菜や食材利用の創意工夫された献立を食育委員スタッフが提供し、好評を得る。今後も引き続き、作物栽培の技術を磨き生産体制の立て直しを図る。

(ウ) 「④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業／農事体験」

事業内容

本年度は実施せず。

【⑤生活困窮者等就労準備支援、社会的包摂推進に係る事業】 ※ 講師等役職名前は敬称略

事業の成果

平成28年3月より豊田市認定 生活困窮者自立支援就労訓練事業所開設。

令和3年(2021年6月～)日進市生活困窮者等就労準備支援事業を受託開始。

岐阜支部、千葉支部における事業及び業務支援。

令和5年度も引き続き「日進市生活困窮者等就労準備支援事業」を受託し、利用者の支援を実施。持続可能な地域共生社会を目指して「生活困難を抱える若者や引きこもり等の支援に関する交流会」開催。

(ア) 「⑤生活困窮者等就労準備支援、社会的包摂推進に係る事業／生活困窮者」

事業内容

令和5年度も事業受託の委託継続を受け、月・水曜日の開設に加えハローワーク巡回相談日の第二第四金曜日の相談支援日の増設を行う。

令和3年度に就労した利用者様の定着就労フォローアップや引きこもり等から社会復帰を目指す若者利用者也2名増え、当会企業会員（業務連携事業者）による社会学講座や職場見学、協働農事作業訓練及びハローワーク名古屋東やくらしサポート窓口との綿密な連携を図り、より充実体制で伴走型支援を行う。その結果、継続利用の2名も就労し、正社員として定着就労。更に新規利用希望者2名を受入れ支援中。

その他、岐阜支部、千葉支部における就労準備支援事業等におけるアグリディ農福連携や社会的包摂推進事業業務全般の助言指導を行う。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
⑤生活困窮者等就労準備支援、社会的包摂推進に係る事業 (生活困窮者)	生活困窮者自立支援制度に基づいた就労準備支援事業を受託し、生活困窮に至る恐れがある人で、自立がみこまれる人の支援	(A) 2023年(R5) 1月2日～ 12月29日 (B) 千葉県野田市 岐阜県 土岐市 飛騨市 美濃市	(D) 豊田市 日進市 一般・会員 (E) 223人	6,008,125円

		愛知県日進市 (C)2人		
--	--	-----------------	--	--

(2) 総費用

総合計 6,008,125円

○人件費用

(内訳)

・正会員従事者(2人)

・給料手当 5,035,575円

・法定福利費(事) 190,961円

○その他経費

・印刷製本費 9,405円

・通信運搬費 110,900円

・賃借料 34,640円

・租税公課 4,000円

・広告宣伝費 6,715円

・支払手数料(管) 1,100円

・旅費交通費 4,080円

・消耗品費 17,810円

・保険料 2,490円

・支払い手数料 209円

・法定福利費(管) 590,240円

(3) 収益

総合計 6,533,505円

(内訳)

○各支部、エリア指導料 6,533,505円

・日進市 4,462,500円

・岐阜 871,000円

・千葉 1,200,000円

・受取利息 5円

(4) 反省点・改善ポイント

日進市生活困窮者等就労準備支援事業受託と、各支部の業務提携指導料を頂き、収入が増加。支援体制の充実と損益の拡充をする為、更に日進市受託料の増額と被保護者就労準備支援における支援一体型を目指し、交付金予算増を提案する事が必要。

継続就労の利用者も増員したが、通所や利用継続が続かない利用者も数名あり。地域福祉課やくらしサポート窓口と連携を強めると同時に支援プログラムの充実を図る事が必要。次年度は活動拠点創設を行いプロポーザル委託へ事業応募し受託を目指す。



(イ) 「⑤生活困窮者等就労準備支援、社会的包摂推進に係る事業/その他」

事業内容

「令和4年度 日進市市民自治活動推進補助金事業（地域福祉課提案啓発事業）」開催。社会問題化する社会的孤立・ひきこもりや生活困難を抱える若者の実態を知り理解を深め、支援関係諸機関のつながりを創り、有機的な支援ネットワーク構築と地域資源の醸成を促し、誰一人取り残さない持続可能な地域共生社会づくりを目指す交流会として開催。

内容としては、岐阜県美濃加茂市福祉課 鈴木 光 氏による基調講演（地域共生社会づくりを目指した子ども若者支援～美濃加茂市の取組と課題～）、愛知県による生活困窮者自立支援制度の説明、日進市における自立相談支援や「いくるばにっしん」就労準備支援事業、利用者の実際の体験談等の事例発表の後、活発な質疑応答の意見交換会となり有意義な交流会となる。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑤生活困窮者等就労準備支援、社会的包摂推進に係る事業（その他）	（日進市市民自治推進補助金事業（地域福祉課協働）） 日進市で誰ひとり取り残さない持続可能な地域共生社会を目指して「生活困難を抱える若者や引きもりなどの支援に関する交流会」開催	(A) 2023年(R5) 1月28日 13:30～16:30 (B) 日進市市民会館 2階会議室 (C) 5人	(D) 日進市福祉団体関係諸機関及び市民 (E) 32人	73,029円

(2) 総費用

総合計 73,029円

(内訳)

・ 諸謝金	53,000円	・ 印刷製本費	12,060円
・ 通信運搬費	210円	・ 消耗品費	550円
・ 支払手数料	209円	・ 広告宣伝費	7,000円

(3) 収益

総合計 73,000円

(内訳)

市民協働課 補助金 73,000円

(4) 反省点・改善ポイント

参加を要する主な諸機関は参加していたが、重層的支援体制整備事業の基盤を意図する地

域共生社会づくりとするならば、子育て支援や学校等の教育機関、障害福祉関係者の参加者を強く募る対応策が必要。



【⑥食育を推進する事業】

※ 講師等役職名前は敬称略

事業の成果

食育を推進する事業として、農林水産省「消費・安全対策交付金」事業として、シンポジウム、教育ファーム検討委員会を開催。食育イベントは、毎年恒例の食育感謝祭を開催。

食育関係として、昨年続き、にしん夢まつり、にしん市民まつりに参加。また今年度も、食育、食農、環境の4大イベントの食事提供を行う。伝統料理講座では、鬼まんじゅうを作る講座を実施。

(ア) 「⑥食育を推進する事業／食育推進」

事業内容

前年度に続き、令和4年度農林水産省交付金事業を受託し実施。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑥食育を推進する事 (食育推進)	令和4年度 農林水産省 交付金事業	(A) 2022年(R4) 4月1日～ 2023年(R5) 3月31日 (B) 愛知県内 (C) 15人	(D) 全国民 (E) 不特定多数	0円

(2) 総費用(無償ボランティア 15人)

総合計 0円

(3) 収益

総合計 285,000円

(内訳)

(4) 反省・改善ポイント

シンポジウムについて、幅広く集客ができるよう内容を柔らかくする等工夫をする。

教育ファーム検討委員会について、インターンシップ学生の学業予定も配慮し実施する。

(イ) 「⑥食育を推進する事業／食育推進」

事業内容

令和4年度農林水産省消費・安全対策交付金(愛知県 地域での食育の推進事業)を受け実施。食や農業への理解を深めてもらう農業体験機会を提供するために、昨年に引き続き日進市での教育ファーム検討委員会を開催し、より充実したプログラム企画開発を図る。

第4回には、第4次食育推進基本計画について東海農政局 消費・安全部消費生活課 小田木康雄氏より説明。令和5年度以降の畑での食育プログラムを検討。

第5回には、令和5年度以降の畑での食育プログラムのまとめを行い、参加者からの提案やこれまでの感想を発表。

令和5年度農林水産省消費・安全対策交付金(愛知県 地域での食育の推進事業)を受け実施。食や農業への理解を深めてもらう農業体験機会を提供するために、昨年に引き続き日進市での教育ファーム検討委員会を開催し、より充実したプログラム企画開発を図る。

第1回は事業趣旨、食育推進法、第4次食育推進基本計画について説明。委員の自己紹介や令和4年度日進アグリスクールの活動紹介を実施。

第2回には、事業趣旨の説明や第1回目不参加だった参加者の自己紹介、令和5年度以降の畑でのプログラム開発についての検討を実施。また今年度も愛知県立大学より、教育型インターンシップにて学生が参加。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者 の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
⑥食育を推進 する事業 (食育推進)	(農林水産省、消費・ 安全対策交付金) 令和4年度 第4回教育ファーム 検討委員会	(A)2023年(R5) 1月26日 10:00～11:45 (B)日進市民会館 (C)4人	(D)日進市職 員、日進市 市民など (E)12人	1,250円
⑥食育を推進 する事業 (食育推進)	(農林水産省、消費・ 安全対策交付金) 令和4年度 第5回教育ファーム 検討委員会	(A)2023年(R5) 2月23日 10:00～11:00 (B)日進市民会館 (C)4人	(D)日進市職 員、日進市 市民など (E)14人	135,940円
⑥食育を推進 する事業 (食育推進)	(農林水産省、消費・ 安全対策交付金) 令和5年度 第1回教育ファーム 検討委員会	(A)2023年(R5) 11月28日 10:00～11:45 (B)日進市民会館 (C)3人	(D)日進市職 員、日進市 市民など (E)10人	2,584円

⑥食育を推進する事業 (食育推進)	(農林水産省、消費・安全対策交付金) 令和5年度 第2回教育ファーム検討委員会	(A) 2023年(R5) 12月19日 10:00~11:45 (B) 日進市民会館 (C) 3人	(D) 日進市職員、日進市市民など (E) 12人	3,974円
----------------------	---	--	------------------------------	--------

(2) 総費用(無償ボランティア 14人)

総合計 143,748円

(内訳)

・旅費交通費	6,050円	・賃借料	7,500円
・通信運搬費	84円	・印刷製本費	8,640円
・消耗品費	1,474円	・諸謝金	120,000円

(3) 収益

総合計 0円

(内訳)

(4) 反省点・改善ポイント

今年4年度も愛知県立大学のインターンシップ生の受け入れを行う機会を得る。
第4次食育推進基本計画について東海農政局より説明を受けより理解を深める。
今年5年度も愛知県立大学のインターンシップ生の受け入れを行う機会を得る。
20代から70代と多世代でのプログラム開発を期待。



(ウ) 「⑥食育を推進する事業/食育推進」

事業内容

令和4年度農林水産省 消費・安全対策交付金(地域での食育の推進事業)事業として“未来へつなぐ食生活と農業に関するシンポジウム2023 in にっしん”と題し開催。広く多くの一般県民に対し、各ライフステージにおける食生活の課題や地域農産物の現状を伝え、毎日の食事が自然の恩恵の上に成り立ち、生産者をはじめ、多くの関係者により食が支えられていること知り、食に対する感謝の気持ちを深め、地産地消の推進と農林水産業の役割と理解促進や食を通じた環境への関心が高めることを目的に行った。内容は、ドキュメンタリー映画『弁当の日』の上映会と長野県立大学 教授 中澤 弥子氏による講演。『未来へつなぐ持続可能な食育・食農・共育とは』をテーマとした対談を中澤弥子氏、教育ファーム検討委員会 今井良幸氏、愛知県立大学インターンシップ生 柴田凜氏、石橋舞羽氏、理事 黒田留美にて行う。コーディネーターは副理事長 村野政章が務める。また、中京大学今井ゼミの日進アグリスクール米作りで使用の田んぼを活かした企画実施について発表。米や野菜が出来るまでの栽培工程や日進市での米作り、6次産業体験コースについてのパネル展示。日進アグ

リスクールで栽培した農薬、化学肥料、除草剤不使用の里芋と峰のむらさきを配布。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑥食育を推進する事業 (食育推進)	(農林水産省、愛知県地域での食育の推進事業) 「未来へつなぐ食生活と農業に関するシンポジウム 2023 in にっしん」として映画上映、講演会、パネルディスカッションを実施	(A) 2023年(R5) 2月23日 13:00～16:45 (B) 日進市民会館 小ホール (C) 13人	(D) 一般市民 (E) 75人	345,750円

(2) 総費用 (無償ボランティア 13人)

総合計 345,750円

(内訳)

・ 諸謝金	82,580円	・ 保険料	3,000円
・ 消耗品費	7,939円	・ 広告宣伝費	67,700円
・ 賃借料	122,390円	・ 雑給	31,552円
・ 印刷製本費	7,300円	・ 支払手数料	759円
・ 旅費交通費	22,530円		

(3) 収益

総合計 110,700円

(内訳)

・ 一般大人 (高校生以上) 前売り	88,200円 (1,800円×49人)
・ 一般大人 (高校生以上) 当日	16,000円 (2,000円×8人)
・ 学生	6,500円 (500円×13人)

(4) 反省・改善ポイント

30代から40代の参加率が悪い。企画内容の改善を図り、子育て世代の家族やアグリスクール参加者が参加できるよう検討。



「第1回食育イベント 食農感謝祭」を開催

第1回食育イベントを「大自然の恵みに感謝『食農感謝祭』 杵や臼を使ってお餅をつこう！和太鼓演奏をきいて、叩いてみよう！」と題し開催。昔ながらの杵や臼を使った餅つきを完全オーガニックで栽培した峰のむらさき、きぬはなもち、みやたまもちを使い実施。餅つき後はもちまるめ体験を実施。

和太鼓グループTSUWAMONO彩の和太鼓演奏、和太鼓体験会も行う。イベント冒頭には当会の活動紹介を実施。今回は野菜の生育状況が悪く、料理の品数を減らす。

食事は味噌汁、里芋の煮っころがし、野菜の天ぷら、手作りきな粉など当会で育てた野菜を使った料理を提供。和太鼓演奏は参加者参加型で子ども達がとても楽しむ。参加者は自然の中でお腹も心も満たされ満足となる。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
⑥食育を推進する事業 (食育イベント)	「第1回食育イベント 食農感謝祭」を開催 杵と臼を使用した昔ながらのもちつき、もちまるめ、活動紹介。TSUWAMONO彩の和太鼓演奏、和太鼓体験会	(A)2023年(R5) 12月3日 9:30~13:30 (B)豊田市棒の手 会館裏当会圃場 (C)13人	(D)自然との 共生に、安心安全な 食育・食農に関心がある 市民、会員 (E)48人	6,294円

(2) 総費用 (無償ボランティア 13人)

総合計	6,294円		
(内訳)			
・賃借料	1,200円	・消耗品費	3,894円
・保険料	1,200円		

(3) 収益

総合計	56,500円
(内訳)	
・一般大人 (高校生以上)	24,000円 (2,000円×12人)
・会員大人 (高校生以上)	13,500円 (1,500円×9人)
・中学生	2,000円 (2,000円×1人)
・小学生以下	1,500円 (500円×3人)
・未就学児 (3歳以下)	2,500円 (500円×5人)
・スタッフ	13,000円 (1,000円×13人)
(食事代 希望者のみ)	

(4) 反省・改善ポイント

今回初めて棒の手会館裏の圃場で、餅つきを開催したので配置図や人の流れについてなど検討が必要。来年度も開催していく上でより良いイベントにする為、更に改善。



(カ) 「⑥食育を推進する事業／食育関係」

事業内容

イベントの残り調味料を販売、必要消耗備品を購入した。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑥食育を推進する事業 (食育関係)	食育関係 イベントの残り調味料販売と必要消耗備品の購入	(A) 2023年(R5) 1月1日～ 12月31日 (B) 豊田市猿投町 農事専従者寮 (C) 5人	(D) 会員 (E) 10人	46,545円

(2) 総費用

総合計 46,545円

(内訳)

・消耗品費 24,523円

・印刷製本費 1,500円

・仕入高NPO 20,522円

(3) 収益

総合計 19,000円

(内訳)

(キ) 「⑥食育を推進する事業／食育関係」

事業内容

今年度も、豊田市で開催している食育、食農、環境イベントにて、薬膳的効能を考慮した食事の提供を行う。材料は当会で栽培した完全オーガニックの米や野菜を使用。参加者には毎回美味しかったと好評を得る。幼児も大人と同じ様に確りと食べている姿が印象的。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者 の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位： 円)
⑥食育を推進 する事業 (食育関係)	「親子で楽しむ♪ 食農・食育体験 む らさきのお米の田 植えをしよう！」 を当会豊田市圃場 にて開催 雨天により中止	(A) 2023年(R5) 5月7日 9:30～13:00 (B) 豊田市猿投 棒の手会館裏 当会圃場 (C) 13人	(D) 自然との共生 に、安心安全な 食育・食農に関 心がある市民、 会員 (E) 0人	0円
⑥食育を推進 する事業 (食育関係)	第1回 環境イベント 『自然と共生する 田んぼで生き物み つけ』を開催。	(A) 2023年(R5) 8月6日 9:30～13:00 (B) 豊田市猿投 棒の手会館裏 当会圃場 (C) 11人	(D) 愛知県 一般、会員 (E) 33人	19,212円
⑥食育を推進 する事業 (食育関係)	とよたまちさとミ ライ塾+ (プラス) 「昔ながらの稲刈り 体験と完全オーガニ ックのお米、お味噌 を使った五平餅作 り」を開催。	(B) 2023年(R5) 10月8日 9:30～13:00 (B) 豊田市猿投 棒の手会館裏 当会圃場 (C) 11人	(D) 自然との共生 に、安心安全 な食育・食農 に関心がある 市民、会員 (E) 33人	11,805円
⑥食育を推進 する事業 (食育関係)	「第1回食育イベ ント 食農感謝祭」 を開催 杵と臼を使用した 昔ながらのもちっ き、もちまるめ、活 動紹介。TSUWA MONO彩の和太 鼓演奏、和太鼓体験 会	(A) 2023年(R5) 12月3日 9:30～13:30 (B) 豊田市棒の手 会館裏当会圃 場 (C) 13人	(D) 自然との 共生に、安心 安全な食育・ 食農に関心 がある市民、会 員 (E) 48人	52,052円

(2) 総費用 (無償ボランティア 48人)

総合計 83,069円
(内訳)

○食育関係	田植え体験 (5/7)	0円	
○食育関係	生き物調査 (8/6)	19,212円	
	・仕入高NPO	16,525円	・消耗品費 2,687円
○食育関係	稲刈り (10/8)	11,805円	
	・仕入高NPO	10,569円	・消耗品費 1,236円
○食育関係	食農感謝祭 (12/3)	52,052円	
	・仕入高NPO	47,274円	・消耗品費 4,778円

(3) 収益

総合計 111,600円
(内訳)

○食育関係	田植え体験 (5/7)	0円
○食育関係	生き物調査 (8/6)	32,000円
○食育関係	稲刈り (10/8)	33,600円
○食育関係	食農感謝祭 (12/3)	46,000円

(4) 反省・改善ポイント

イベントの短時間開催実施に伴い、各種イベントの食農体験等を優先した為、昨年同様にワークショップを中止した。

引き続き感染予防対策として、持ち運びの出来る使い捨て容器を使用したり、家族毎に分けて配膳。また、猛暑日が続く野菜の生育状態が思わしく無かった為、献立の内容変更が有り、イベント直前迄創意工夫が必要だった。

**(ク) 「⑥食育を推進する事業／食育関係」****事業内容**

「にっしん夢まつり」に出店。

昨年に引き続き、にっしん夢まつりに出店。にっしん五平餅の地域ブランド化を目的ににっしん五平餅の販売や当会の活動紹介などを実施。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者 の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)

⑥食育を推進する事業 (食育関係)	にっしん夢まつり 五平餅の販売と当会の活動紹介	(A) 2023年(R5) 9月17日 9:00~19:30 (B) 日進市役所 (C) 5人	(D) 日進市民 など (A) 不特定 多数	58,007円
----------------------	----------------------------	---	---------------------------------	---------

(2) 総費用 (無償ボランティア 5人)

総合計 58,007円

(内訳)

- ・仕入高NPO 14,874円
- ・消耗品費 12,233円
- ・支払手数料 2,200円
- ・賃借料 25,000円
- ・保険料 3,700円

(3) 収益

総合計 60,300円

(内訳)

- ・にっしん五平餅販売 300円×201本=60,300円

(4) 反省・改善ポイント

今回は子どもでも購入出来る様に、量を減らして300円で販売。4時間で完売出来た。購入者からは、とても美味しかったとの声があり満足となる。



(ケ) 「⑥食育を推進する事業/食育関係」

事業内容

全支部との食育の共通理解の為、食育勉強会を開催。薬膳を取り入れた献立の組み方や季節の食材、発行食について等を学び、当会の食育の大切さについて伝えた。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑥食育を推進する事業 (食育関係)	食育勉強会を開催	(A) 2023年(R5) 3月26日 10:00~16:00 (B) ウィルあいち	(D) 各支部 食育担当者 (E) 6人	2,940円

		セミナー ルーム3 (C)1人		
--	--	-----------------------	--	--

(2) 総費用（無償ボランティア 1人）

総合計 2,940円

(内訳)

・印刷製本費 840円 ・賃借料 2,100円

(3) 収益

総合計 3,000円

(内訳)

・参加費
各支部食育担当者 3,000円（500円×6人）

(4) 反省・改善ポイント

全支部が参加出来なかった為、早めの案内が必要だった。
食育担当者へ向けて実践を取り入れた内容も検討したい。

(コ) 「⑥食育を推進する事業／食育関係」

事業内容

「にしん市民まつり」に出店。

昨年に引き続き、にしん市民まつりに出店。にしん夢まつりと同様ににしん五平餅の地域ブランド化を目的ににしん五平餅の販売や当会の活動紹介や伝統料理講座『にしん鬼まんじゅうをつくろう』の案内を実施。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者 の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
⑥食育を推進 する事業 (食育関係)	にしん市民まつり 五平餅の販売と活動 紹介	(A) 2023年(R5) 11月19日 9:00～15:00 (B) 日進市役所 (C) 6人	(D) 日進市民 など (E) 不特定 多数	27,820円

(2) 総費用（無償ボランティア 6人）

総合計 27,820円

(内訳)

・仕入高NPO 6,897円 ・賃借料 15,000円
・消耗品費 5,923円

(3) 収益

総合計 52,500円

(内訳)

- ・にしん五平餅販売 300円×175本=52,500円

(4) 反省・改善ポイント

今回も13時30分頃には完売。売上げ向上のため五平餅の型の購入や完全オーガニックでの五平餅である価値観の告知方法などを検討する。また『にしん五平餅』PR用ののぼりを製作する。



(サ) 「⑥食育を推進する事業／食育伝統料理講座」

事業内容

「令和5年度消費・安全対策交付金（地域での食育の推進事業）事業 伝統料理講座「にしん鬼まんじゅうを作ろう」を開催。

令和5年度消費・安全対策交付金（地域での食育の推進事業）事業の伝統料理講座を“にしん鬼まんじゅうを作ろう”と題し開催。地産地消の推進と農林水産業の役割と理解の促進、郷土料理等の地域の食文化の継承など、県民一人ひとりが食の大切さを理解し主体的に食育に取り組めることを目的に実施。内容は、有機循環自然農法で栽培したさといも、じゃがいも、さつまいもを包丁で切り、米粉に混ぜ、蒸す工程などを実施。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の 範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
⑥食育を推進する事業 (伝統料理)	(令和5年度消費・安全対策交付金（地域での食育の推進事業）) にしん鬼まんじゅうを作ろう	(A)2023年(R5) 12月17日 10:00~12:30 15:00~16:30 (B)日進市民会館 調理実習室 (C)6名	(D)一般市民 (E)21名	69,218円

(2) 総費用（無償ボランティア 6人）

総合計 69,218円

(内訳)

- ・仕入高NPO 9,402円
- ・賃借料 16,750円
- ・消耗品費 6,171円
- ・広告宣伝費 2,820円

・支払手数料	▲100円	・保険料	1,200円
・諸謝金	31,000円	・旅費交通費	1,975円
(3) 収益			
総合計	30,200円		
(内訳)			
参加費			
・大人(高校生以上)	20,000円(2,000円×10人)		
・小中学生	7,000円(1,000円×7人)		
・未就学児	3,200円(800円×4人)		

(4) 反省点・改善ポイント

未就学児でも参加できるように参加条件を変更、日進アグリスクールからの参加者が増加。低年齢でもできる工夫が必要。



【⑧その他この法人の目的を達成する為に必要な事業】 事業の成果

※ 講師等役職名前は敬称略

その他この法人の目的を達成する為に必要な事業として、市民農園の管理運営を継続。又、青空交流会(土づくり、野菜づくり)を年2回開催。

協働事業としては、日進アグリスクールを継続。米づくりコース、にっしんサトイモおはぎ創りコースの2コースを実施。

又、ぐるぐるNISSHINまちミル博覧会に参加。里芋収穫の企画を実施。

(ア) 「⑧その他この法人の目的を達成する為に必要な事業/市民農園」

事業内容

豊田市協働事業として始めたが、2016年度に助成金対象期間が終了。6期を迎えた2016年度から当法人単独での事業運営となり市民農園指導教室を年2回開講。今年度は管理担当の江譲二が講師を務め、市民農園マザリーアースを青空会場にして契約者している方を対象に有料で農業の普及活動として開催。又、氣力野菜の試食会を行う。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者 の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位:円)
⑧その他この法人 の目的を達成す るために必要な	市民農園	(A) 2023年(R5) 1月から12月迄 随時受付	(D) 豊田市 一般・会員 (E) 17人	403,866円

事業 (市民農園)		(B) 市民農園 マザリーアース (C) 5人		
⑧その他この法人 の目的を達成す るために必要な 事業 (市民農園)	土づくり教室 青空交流会	(A) 2023年(R5) 6月4日 9:30~13:00 (B) 市民農園 マザリーアース (C) 3人	(D) 豊田市 一般・会員 (E) 5人	5,290円
⑧その他この法人 の目的を達成す るために必要な 事業 (市民農園)	野菜づくり教室 青空交流会	(A) 2023年(R5) 11月12日 9:30~13:30 (B) 市民農園 マザリーアース (C) 3人	(D) 豊田市 一般・会員 (E) 6人	6,303円

(2) 総費用 (無償ボランティア 11人)

総合計 415,459円 (403,866円+5,290円+6,303円)

(内訳)

・ 諸謝金講師料	0円 (2人無料)	・ 仕入高マルシェ	800円
・ 通信運搬費	4,284円	・ 仕入高NPO	5,078円
・ 消耗品費	43,762円	・ 支払手数料	60,495円
・ 地代家賃	2,604円	・ 銀行手数料 (管)	550円
・ 修繕費	295,060円	・ 車両費	2,826円

(3) 収益

総合計 268,222円

(内訳)

・ 市民農園セミナー参加料 (延べ11人)	6,600円
1回目 利用者	600円×5名=3,000円
2回目 利用者	600円×6名=3,600円
・ 市民農園利用料 (17人)	169,122円
1区画利用者	5,500円×10名=55,000円 (10区画)
2区画利用者	11,000円×2名=22,000円 (4区画)
3区画利用者	16,500円×4名=66,000円 (12区画)
4区画利用者	22,000円×1名=22,000円 (4区画)
・ 前受金2023年1~3月分	33区画分差引 45,342円
・ 前受金2024年1~3月分	30区画分差引 ▲41,220円
・ 耕運代金	4,500円 (1,500円×3回)
・ 補助金 (農業振興対峙事業)	88,000円

(4) 反省点・改善ポイント

開催のお知らせハガキが戻って来る事例あり、住所変更等の連絡の確認を早く行う。
 集客について、次回のチラシを配り、現場での声掛けやDMを出す事でリピートに繋げる。
 野菜づくり教室では、イベント案内のチラシを作成、今後も継続。



(イ) 「⑧その他この法人の目的を達成する為に必要な事業／協働事業」

事業内容

農地賃借料と圃場管理経費

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者 の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑧その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (協働事業)	農地賃借料と圃場管理経費	(A) 2023年(R5) 1月1日～ 12月31日 (B) 豊田市、日進市 当会圃場 (C) —	(D) — (E) —	68,525円

(2) 総費用

総合計 68,525円

(内訳)

・印刷製本費	1,160円	・車両費	755円
・賃借料	66,170円	・支払手数料	440円

(3) 収益

総合計 0円

(内訳)

(4) 反省点・改善ポイント

今後も地主との繋がりを大切にして事業を進める。

(ウ) 「⑧その他この法人の目的を達成する為に必要な事業／協働事業」

事業内容

日進市の委託事業として『日進アグリスクール米作り体験コース』を開催。

5月14日、第1回目「どろリンピック&田植え」。峰のむらさきの田植え、苗取りを塩田悦己が講師となり実施。どろリンピックはイベント途中から雨天になった為次回へ順延。今回、田植えをする事が初めての家族が多かったが、一生懸命に楽しんで取り組む。

7月30日、第2回目「自然・生き物観察、どろリンピック」。田んぼの中や外にある雑草や植物を見つけながら、「テデトールビンゴ」と題して、どんな草たちが生えているかをビンゴの形にして見つけた草をチェック。併せて生き物調査を行う。また前回中止したどろリンピックを開催、田んぼ距離走を行う。

9月10日、第3回目「稲刈り・はざかけ」。昔ながらの手鎌での稲の刈り方やはざかけを行う。5月の田植えから始まり、成長した稲を見て楽しそうに収穫しているのが印象的。昔ながらの手鎌での稲刈りはざかけ伝える事により、食農の大切さや収穫の喜びや感謝を伝える良い機会となる。

9月24日、第4回目「足踏み脱穀・わらリンピック」。昔ながらの足踏み脱穀機を使用した脱穀方法やわら取り、わら切り、わら蒔きを行う。わらリンピックでは、わら投げ競争、藁を使った二人三脚風リレー実施。脱穀から藁撒き迄の一連の流れを体験する事で、食農の大切さを伝える。

10月29日、第5回目「もみすり・工作・試食」。一升瓶やすり鉢を使った色々な方法での粃摺り体験や脱穀後の藁を使ったリース作りを行う。峰のむらさきの試食、これまでの振り返りを実施。参加者は粃摺り、リース作りを楽しそうに取り組む。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
⑧その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (協働事業)	第1回 米作りコース どろリンピック &田植え	(A)2023年(R5) 5月14日 (B)日進市米野木町 当会圃場 (C)4人	(D)一般市民 (E)35人	0円
⑧その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (協働事業)	第2回 米作りコース 自然・生き物調査 テデトールビンゴ どろリンピック	(A)2023年(R5) 7月30日 (B)日進市米野木町 当会圃場 (C)5人	(D)一般市民 (E)40人	500円
⑧その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (協働事業)	第3回 米作りコース	(A)2023年(R5) 9月10日	(D)一般市民 (E)30人	8,436円

成するために必要な事業 (協働事業)	稲刈り・はざがけ。	(B)日進市米野木町 当会圃場 (C)5人		
⑧その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (協働事業)	第4回 米作りコース 足踏み脱穀 わらリンピック	(A)2023年(R5) 9月24日 (B)日進市米野木町 当会圃場 (C)6人	(D)一般市民 (E)33人	1,042円
⑧その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (協働事業)	第5回 米作りコース もみすり 工作 試食	(A)2023年(R5) 10月29日 (B)日進市米野木町 当会圃場 (C)7人	(D)一般市民 (E)35人	6,101円

(2) 総費用 (無償ボランティア 27人)

総合計 16,079円

(内訳)

・車両費 4,960円 ・消耗品費 11,119円

(3) 収益

総合計 469,150円

(内訳)

・事業収益 469,150円

(4) 反省点・改善ポイント

広報にっしんや日進市のサイトやメールにて集客を実施。ふるさと納税者申し込みはなかったが定員が満員となる。当会からの事前の案内メールが迷惑メールになり届かない事象が本年も発生。対処が難しく電話等に対応。どろリンピックは、生き物観察と同時開催の方が飽きやすい子どもたちにとっても長時間イベントに参加できるので良いと判断。

中京大学今井ゼミ、愛知県立大学インターンシップ生と参加者のコミュニケーションがしっかり取れてきて、若い世代との交流で参加率も増える事が期待出来る。

昔ながらの足踏み脱穀機とコンバインでの脱穀の違いを参加者が見て知る事が出来、より一層農業の大変さを知る機会となる。久しぶりの糶摺り体験、リース作りだったが準備が直前の部分もあり、計画をしっかり立て進める。



(エ) 「⑧その他この法人の目的を達成する為に必要な事業/協働事業」

事業内容

日進市の委託事業として『日進アグリスクールにっしんサトイモおはぎ創りコース』を開催。

4月23日、第1回目「畑づくり・植え付け」。農事事業部の塩田悦己より道具の使い方のレクチャーを行う。畝立てを行い、里芋を植え付けた。初めての畝立て、里芋の植え付けをする参加者がおり、体験が出来て満足となる。

5月28日、第2回目「管理作業（土寄せ・施肥など）植え付け（サツマイモ苗）」。
4月に植えた種芋の経過観察、草刈り、落ち葉堆肥施肥、土寄せ、草マルチを実施。また、サツマイモ苗の植え付けと、サプライズで夏野菜の植え付け作業を6畝実施。参加者は、自身で植え付けた種芋を見て、元気に生育している事を見て喜ばれる。

7月16日、第3回目「畑づくり、植え付け（大豆）・管理作業（土寄せなど）」。前半は、里芋の管理作業として草刈り作業と、土寄せ、草マルチを実施。後半は、大豆と小豆の畝づくり、播種等を実施。サプライズで食農スタッフが育てたオーガニックスイカを提供し水分補給をする。

10月22日、第4回目「収穫・試食」。自分たちで育てた里芋を収穫し、その場で焼き里芋にして提供。収穫のレクチャーは農事事業部の塩田悦己にて実施。1株から収穫出来るの里芋の多さに驚き満足となる。又、試食では里芋を焼き芋にして提供。普段食べている里芋とは違い、美味しいと驚きの感想となる。今回も、愛知県立大学のインターンシップ生等にボランティアとして参加し協力を得る。

11月5日、最終回「食品加工講座（おはぎづくり）」。食育委員長の黒田留美から里芋ともち米の炊飯の仕方を説明後、里芋の皮の剥き方や切り方レクチャー。炊飯後におはぎの成型を実施。またアグリスクール一年の振り返り、活動パネルの展示を行う。自分たちで育てた里芋や小豆を使用した食育ワークショップ行う事で食育・共育の大切さを伝える。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者 の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
⑧その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (協働事業)	第1回 サトイモおはぎ創り コース 畑づくり、植え付け	(A)2023年(R5) 4月23日 (B)日進市本郷町当 会圃場 (C)4人	(D)一般市民 (E)26人	180円
⑧その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (協働事業)	第2回 サトイモおはぎ創り コース 管理作業(土寄せ・施肥など)、植え付け (サツマイモ苗)	(A)2023年(R5) 5月28日 (B)日進市本郷町当 会圃場 (C)4人	(D)一般市民 (E)21人	6,500円
⑧その他この法人の目的を達	第3回 サトイモおはぎ創り	(A)2023年(R5) 7月16日	(D)一般市民 (E)19人	5,036円

成するために必要な事業 (協働事業)	コース 畑づくり、植え付け (大豆)・管理作業 (土寄せなど)	(B)日進市本郷町当 会圃場 (C)4人		
⑧その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (協働事業)	第4回 サトイモおはぎ創り コース 収穫、試食	(A)2023年(R5) 10月22日 (B)日進市本郷町当 会圃場 (C)6人	(D)一般市民 (E)28人	0円
⑧その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (協働事業)	最終回 サトイモおはぎ創り コース 食品加工講座(おはぎづくり)	(A)2023年(R5) 11月5日 (B)日進市民会館 調理実習室 (C)6人	(D)一般市民 (E)28人	10,247円

(2) 総費用(無償ボランティア 24人)

総合計 21,963円

(内訳)

・仕入高マルシェ	4,950円	・仕入高NPO	6,979円
・車両費	3,500円	・通信運搬費	1,050円
・消耗品	5,484円		

(3) 収益

総合計 482,150円

(内訳)

・事業収益	469,150円
	13,000円(500円×26人)

(4) 反省点・改善ポイント

申し込みは前年より増加。2年連続、4年連続の参加者や昨年の米作り体験コースの参加者が参加。着実にリピーターは増えている。昨年からの流れとして、家族間での繋がりが出来、交流が増えて他家族の小さい子どものお世話をする参加者もいた。

第3回目は気温が高い中での作業だったので、スタッフが持参したスイカをサプライズで提供した所とても喜ばれる。初めて大きなスコップなどを使用する子どもがおり、振り回す可能性があったので収穫する際は、グループ毎に適度な距離感が必要。サトイモおはぎは初めて実施する事だったが、試作を何度か行い完成。日進ブランドの新たな商品として改善を行う。



(オ) 「⑧その他この法人の目的を達成する為に必要な事業/協働事業」

事業内容

ぐるぐるNISSHINまちミル博覧会2023（産業振興課事業）のプログラムとして、「完全オーガニックの里芋を収穫して食べよう♪」をLaClo（ラクロ）協力のもと開催。

昨年に引き続き、日進アグリスクールで栽培した里芋を収穫し、圃場で焼き里芋にして提供。収穫のレクチャーは食農委員の塩田悦己が担当。今年も里芋の育ちが良く、参加者は一株の収穫量の多さに驚き満足した様子。また、アグリスクール受講生家族や産業振興課職員も参加し、初めて食する熱々の焼き里芋の美味しさに、子どもから大人まで満足となる。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
⑧その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (協働事業)	ぐるぐる NISSHIN まちミル博覧会 2023 完全オーガニックの 里芋を収穫して食べよう♪	(A)2023年(R5) 11月19日 14:00~16:00 (B)日進市本郷町当 会圃場 (C)6人	(D)一般市民 (E)14人	0円

(2) 総費用（無償ボランティア 6人）

総合計 0円
(内訳)

(3) 収益

総合計 14,500円
(内訳)

- ・大人 12,000円 (2,000円×6人)
- ・小中学生 1,000円 (1,000円×1人)
- ・未就学児 1,500円 (500円×3人)

(4) 反省点・改善ポイント

日進アグリスクールの受講生にも案内し2家族の参加がある。今年は参加者が例年より少なく、今後は周知を工夫し、より多くの参加者を募る事が必要。



(カ) 「⑧その他この法人の目的を達成する為に必要な事業/その他」

事業内容

日進市立北小学校2年生の生活科「サツマイモを育てる」。

地域学校協働活動推進員（コーディネーター）を通じて、当法人と地元ボランティア団体「御嶽ボランティア」と共に、北小学校にある放棄地になっていた畑を元に戻し、小学2年生の生活科の授業として「サツマイモを育てる」授業を担当。6月に植え付け、10月に収穫、11月にふかし芋を2年生全員で食べる共食を行う。完全オーガニックのサツマイモの生育の流れ、畑の作り方、味の違いを知ると共に、食に対する感謝の気持ちを育む機会となる。また通常は無償ボランティアという条件での関わりであるが、貢献度を学校側が評価謝礼を頂く。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑧その他この法人の目的を達成するために必要な事業(その他)	サツマイモの植え付け	(A) 2023年(R5) 6月7日 8:00～11:30 (B) 北小学校畑 (C) 6人	(D) 日進市立北小学校2年生、教員 (E) 約95人	0円
⑧その他この法人の目的を達成するために必要な事業(その他)	サツマイモの収穫	(A) 2023年(R5) 10月10日 8:00～11:30 (B) 北小学校畑 (C) 4人	(D) 日進市立北小学校2年生、教員 (E) 約95人	0円
⑧その他この法人の目的を達成するために必要な事業(その他)	サツマイモの共食、振り返り	(A) 2023年(R5) 11月27日 8:30～11:30 (B) 北小学校家庭科室・体育館 (C) 3人	(D) 日進市立北小学校2年生、教員 (E) 約96人	0円

(2) 総費用（無償ボランティア 13人）

総合計 0円
(内訳)

(3) 収益

総合計 0円
(内訳)

(4) 反省点・改善ポイント

実績が出来た事から、来年度以降の学校との連携に繋げる。



(2) その他の事業に係る事業

※本年度は実施せず。

■事務局管理費

1 総費用

総合計 2,496,847円

(内訳)

管理費の内訳

仕入高NPO	70,308円
印刷製本費(管理)	24,160円
通信運搬費(管理)	437,149円
消耗品費(管理)	30,356円
水道光熱費(管理)	219,644円
地代家賃(管理)	1,080,000円
賃借料(管理)	3,000円
広告宣伝費(管理)	15,625円
諸会費(管理)	66,375円
租税公課(管理)	668円
支払手数料(管理)	549,561円
減価償却費(管理)	1円

2 収益

総合計 4,744,058円

(内訳)

正会員受取会費	761,000円
団体・企業受取会費	130,000円
受取入金	4,000円
寄附金収入	3,704,563円
寮	80,000円
受取利息	450円

雑 収 益 64,045円

※次年度以降の事業に対して今年度多大な寄附金を頂いた。

3 会議の開催に関する事項

【1】通常総会

(1) 通常総会

・開催日時及び場所

第15回 通常総会を開催。

2023年(令和5年) 3月25日 12:00～13:30

ウィルあいち セミナールーム1.2

会員・一般 60人

(内訳) 当日参加者 33人 委任状 27人

(2) 総費用(無償ボランティア 10人)

総合計 83,804円

(内訳)

・仕入高NPO	37,000円	・印刷製本費	13,330円
・旅費交通費	1,500円	・通信運搬費	13,774円
・会場賃借料	18,200円		
(会場費、ワイヤレスマイク含む)			

(3) 収益

総合計 18,000円

(内訳)

《 通常総会 & マザリーアースプロジェクトセミナー 》

・参加費	17,000円 (500円×34人)
・一般	1,000円 (1,000円× 1人)

(4) 反省点・改善ポイント

総会開催に向けての段取りが悪かった。先を見通して段取りする。
マザリーアースプロジェクトセミナー、発表の時間の計画を見直す。



ア 通常総会

通常総会

・開催日時及び場所

2023年(令和5年) 3月25日 12:00～13:30

ウィルあいち セミナールーム1. 2

・議題

- 第一号議案 2022年(令和4年)度 事業報告、決算報告について
 第二号議案 2022年(令和4年)度 監査報告について
 第三号議案 2022年(令和4年)度 寄附金活用報告について
 第四号議案 2023年(令和5年)度 事業計画(案)、活動予算(案)について
 第五号議案 2023年(令和5年)度 理事、監事(案)について
 第六号議案 2023年(令和5年)度 運営組織・人事(案)について
 その他

イ 臨時総会

臨時総会

・開催日時及び場所

2023年(令和5年) 10月29日 18:00～18:15

愛知県名古屋市中区千代田2丁目10-10番地 206号室

・議題

- 第一号議案 2023年(令和5年)度 理事の増員について

【2】理事会

ア 理事会

第1回理事会

・開催日時及び場所

2023年(令和5年) 3月5日 19:10～23:35

鶴舞事務所

・審議事項

- ①第15回通常総会議案について
- ②第15回通常総会プログラム案について
- ③総会資料確認
- ④理念継承勉強会について
- ⑤その他について

第2回理事会

・開催日時及び場所

2023年(令和5年) 7月9日 9:00～12:20

鶴舞事務所

・審議事項

- ①令和6年度地域での食育の推進事業について
- ②にしん夢まつりの出展について
- ③日進市困窮事業など店舗について
- ④その他について

第3回理事会

・開催日時及び場所

2023年（令和5年）9月24日 14:00～14:20

鶴舞事務所

・審議事項

①理事の増員について

第4回理事会

・開催日時及び場所

2023年（令和5年）12月30日 10:00～18:20

鶴舞事務所

・審議事項

- ①令和6年度事業方針（案）について
- ②令和6年度年間スケジュール（案）について
- ③令和6年度組織、理事、監事（案）について
- ④令和5年度寄附金使用（案）について
- ⑤令和6年度各事業部門予算（案）について
- ⑥その他について

4 勉強会の開催に関する事項

(1) 会計勉強会

・開催日時及び場所

会計勉強会を開催。

2023年（令和5年）3月26日 10:00～16:00

ウィルあいち セミナールーム3

各支部会計担当者 6人

(2) 総費用（無償ボランティア3人）

総合計	2,100円
-----	--------

(内訳)

・賃借料	2,100円
------	--------

(3) 収益

総合計	3,000円
-----	--------

(内訳)

・参加費

・各支部会計担当者	3,000円（500円×6人）
-----------	-----------------

(4) 反省点・改善ポイント

初めての試みではあったが、必要に応じて随時今後も開催する。